

図書館便り

2023年12月号

アサンブション国際中学校高等学校図書館(文責:島田雪子(司書教諭))

☆お知らせ1:冬休み前長期貸出 実施中! 11月20日(月)より

◎返却期限日:1月9日(火) 貸出冊数:6冊

期末試験が済んだら、本を読みましょう!!

☆お知らせ2:返却督促状(とくそくじょう)への問い合わせは直接図書館へ!

担任の先生に「もう返した」と言うのはやめてください。

◎返却手続きがうまくいっていない場合がありますので、

その場合は必ず直接図書館に言いに来てください。

その際、図書館にいつ返却しに来たのかも教えてください。宜しくお願いします。

🔴貸出期間延長はこまめに申し出てください🔴

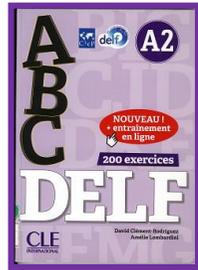


☆お知らせ3:不明本を捜しています。ご協力をお願いします。

◎前回捜索中だった DVD(『サッカー南米流 球際と攻めの仕掛けが強くなる DVD 付き』)は回収されました。ご協力有難うございます!!

◎現在捜索中のもの

①『ABC DELF A2』の付属 CD



②『生物の多様性ってなんだろう? 生命のジグソーパズル』京都大学総合博物館・京都大学生態学研究センター編 京都大学学術出版会 (推薦図書リスト「進路・小論文・現代文」)

③『DEL F Scolaire et Junior A1』(テキスト及び付属 CD)

◎教室や部室などにあったら、図書館に届けてください。(館内も捜索中です)

◎貸出本の返却手続きが未完になっているケース(当該貸出本が行方不明になっているもの)については、今後ひと月に1回程度、督促状を発行します。督促状が来なかったからと言って、貸出状態が解除されたわけではありません。ご理解とご協力をお願いします。当該貸出本が回収できたら、借主にその旨をお知らせします。

☆お知らせ4:探究・入試・大学からの課題の為の本等のリクエストが活発です。どの学年の人も探究・大学入試の本のリクエストと図書の利用を!!

◎今年度の図書館予算は残り少なくなってきました。通俗的な読み物のリクエストをお断りせざるを得ない状況になっておりますが、大学受験関連図書、大学からの課題のためのもの、探究用のものなどは引き続き購入していきますので、カウンターに相談してください。

◎毎年、高校3年生の人達がリクエストして入った本が、その後、下級生のために役立っています。高校2年生以下の人達も、進路のための読書に早めに取り組みましょう!!

☆写真を見て、解説を読んで思いを巡らせてみよう。全て新着



①『ピュリツァー賞受賞写真全記録』第2版 ハル・ビュエル著
日経ナショナルジオグラフィック社:1942年のピュリツァー賞写真部門創設から2015年までの受賞作品を、現場の状況、撮影者のコメント等と共に掲載する。

大半の写真に撮影データ(カメラ・フィルム・レンズ・シャッター速度・絞り)が記載されている。

②『SAPEURS (サプール) LADIES AND GENTLEMEN OF THE CONGO』タリーク・ザイディ著

ヤナガワ智子 訳 青幻舎インターナショナル

「サプール」とは、アフリカのコンゴ共和国で、国民の平均月収の何倍もするパリ紳士のファッションを身にまとい、気取って闊歩(かっぽ)するお洒落なダンディーたちのことである。(以下、本文5ページから引用)「このサプール運動の起源を紐解く(ひとく)と、1920年代に起きた植民地政府への抗議運動に遡(さかのぼ)る。」

金持ちのフランス人雇用主からのお下がり衣服ではなく、自分で働いた給料をつぎ込んで高価な服を買うということ、ある文化のお洒落を追求し、着こなし、人に見せるということの意味——とりわけ、自己の民族の文化でないものを求めることにこめられた意味——を考えさせられる。詳しくは、是非この本の中身をご覧ください。

☆岩波文庫の新刊・復刊から 全て新着

◎最近の岩波文庫の新刊・復刊のごく一部ですが、購入できたものを下に示します。資金が許せば、年度末までにもう少し買い足していきたいと考えています。



③『英国古典推理小説集』佐々木 徹 編訳 赤 N207-1:半数の作品は本邦初訳です。

④『知里幸恵 アイヌ神謡集』補訂新版 知里幸恵 著 中川裕 補訂 赤 80-1
アイヌ語(ローマ字表記)と和語の対訳になっている。アイヌの人々の文化に触れてみよう。

⑤『モイラ』ジュリアン・グリーン作 石井洋二郎 訳 赤 N520-1
潔癖で信仰に捉われた美少年の運命を描く。

⑥『精選 物理の散歩道』ロゲルギスト 著 松浦壮 編 青 956-1
7人の物理仲間達が「ロゲルギスト」の名で発表した科学エッセイから、名作を精選したもの。

⑦『ヒポクラテス医学論集』國方栄二編訳 青 901-2 : 古代ギリシアの医聖ヒポクラテス(紀元前5世紀頃)の名で伝わる著作物と、現存する3つの「ヒポクラテス伝」を収録する。
「ヒポクラテスの『誓い』」も収録されている。医療関係の分野を志望する人は一読されたし。

⑧『アンデルセン自伝 —— わが生涯の物語 ——』アンデルセン著 大畑末吉訳 赤 741-4
アンデルセンの著した自伝の内、42歳頃までのものの翻訳です。

⑨『タタール人の砂漠』ブツァーティ作 脇功 訳 赤 719-1:20世紀イタリア文学。ドロゴ将校は初任地の岩に向かうが……。人生の展開についての思索を呼び起こす作品。

☆お知らせ: 付属 CD・DVD が手許に取り残されていませんか?

◎教室や部室などにあったら、図書館に届けてください。

近年、スポーツの本や語学のテキスト・参考書についている CD・DVD が、返却の際、元に戻されていないケースが起きるようになりました。現在、下記の 2 冊の付属 CD・DVD を検索中です。

普段、不明本などは、学期末の大掃除の際などに教室や部室に放置されていたのを図書館に届けていただいたり、長期休暇中に家を整理整頓していて見つかったりなどのケースが多くあります。学校や家での大掃除の際などに見つかったら、図書館に届けてください。

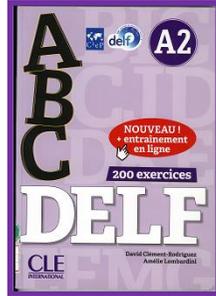
皆さんのご協力をお願いします。

DVD 検索中



『サッカー南米流 球際と攻めの仕掛けが強くなる DVD 付き』

CD 検索中

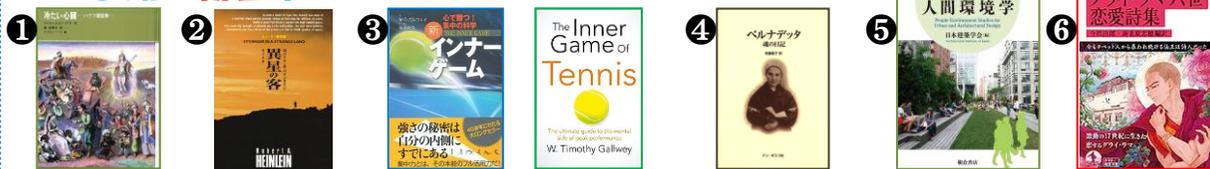


『ABC DELF A2』

☆借り出した本は、返却期限日までに返却するか、貸出期限の延長を申し出てください。

◎返却遅れのペナルティーの貸出停止期間中に、授業利用で本を借りて読む課題があり、本を借りることが出来ずに困ってしまう事態が頻発中です。気を付けましょう!!

☆一学期の新着本 いろいろなジャンルからピックアップ!!



①『冷たい心臓——ハウフ童話集——』 ヴィルヘルム・ハウフ著 福音館書店: 19世紀ドイツのメルヒェン集。

◎②③:ビル・ゲイツが選んだ「人生で最高の5冊の本」から

②『異星の客』 ロバート・A・ハインライン著 創元SF文庫: 異星から帰って来た男と地球人の行動を描く。

③『新インナーゲーム』『The Inner Game of Tennis』ガルウェイ著 日刊スポーツ/PAN BOOKS: 自分自身の殻を打ち破って、内なる才能を限界近くまで引き出すために、自己の内面を分析し、適切に働かせる方策を述べる。自分主義ではなく、自己の内側のチャレンジである。テニスのみならず、他のスポーツその他の活動についても参考になる。(原書と日本語訳を購入しました。)

④『ベルナデッタ 魂の日記』 安藤敬子訳 ドン・ホスコ社: ルルドの泉を発見した聖ベルナデッタの日記・手記

⑤『都市・建築デザインのための人間環境学』 日本建築学会 朝倉書店: 建築・都市システム工学・環境科学等の志望者に。

⑥『ダライ・ラマ六世 恋愛詩集』 今枝由郎 他訳注 岩波文庫: 詩と解説(還俗を望んだ六世の生涯など)

☆高1生物基礎の夏休み課題のための本を、入口入ってすぐの白いワゴンの一隅に集めています。

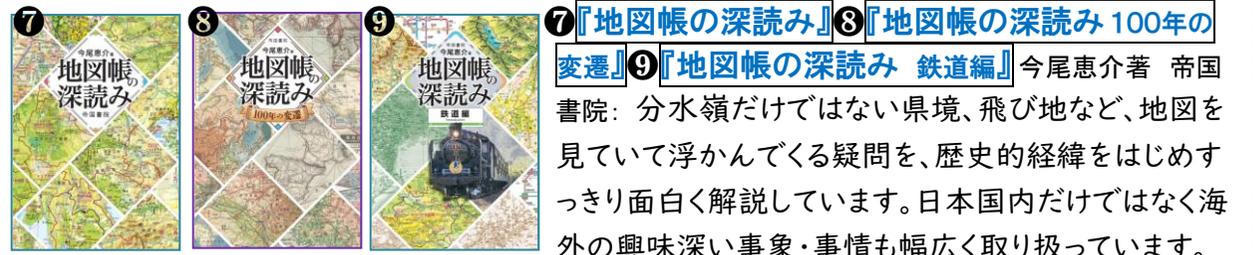
◎他にも各種推薦図書コーナー・学習&探究(調べ学習)支援コーナー・開架スペース400番台のエリア・新書コーナーなどを探してみよう!!

授業中は、理科関係図書で新着図書や各種推薦図書リストの中の一部の本を、閲覧スペースの机の上に広げて置いていました。今後は新着本の理科関係の本は館内入口正面の白いワゴンに置いてあります。

◎「iPad でやるからいい」という人もいましたが、それは「理科に関する本を読む」という課題で得られるはずの本当の学びをしたことにはなりません。

今回出されたのは、理科に関係する本を一冊読んで、先生ご指定の内容について記述する課題ですが、それによって、関連する知識や考え方をいろいろと吸収することができるのです。iPad でどう誤魔化すつもりなのか知りませんが、本をきちんと読んだ場合の方が、より体系的な、あるいはよりまとまった知識や考え方が身につく、理科の学力、ひいては学力全体にとってよりプラスとなることは明らかです。課題にはしっかり取り組もう!

☆先生方からご紹介・ご寄贈いただいた本・教員推薦図書の新版など 全て新着



◎本格的な解説を論点ごとに解り易く提示した本。押さえるべきポイントがわかる!!

⑩『論点・日本史学』 岩城卓二 他編著 ミネルヴァ書房 (全154論点) 時代ごとに「総論」を置いた上で、30~61の論点を見開き2ページずつで解説する。各論点内に用語解説や参考文献も載っている。

参考書にプラスして読んでみよう!!

⑪『論点・ジェンダー史学』 山口みどり 他編著 ミネルヴァ書房: 現代のLGBTQについての学びだけではなく、なかなか見えてこない歴史的経緯を知ること、考慮すべき多様な事情を把握することができる。探究学習・調べ学習の際には、テーマや調べる方針を決める前にこの本もチェックしてみましょう。

◎歴史学習と、絵画鑑賞が楽しくなる本!!

⑫『小学館版 学習漫画 日本の歴史』全20巻 小学館 山川出版社が編集に協力したもの。中学生ぐらいまでの間に読んでおくと、中高での本格的な歴史学習の際に役立ちます。

⑬『カラー版 名画を見る眼』I 油彩画誕生からマネまで・II 印象派からピカソまで 高階秀爾 著 岩波新書 1976/1977

推薦図書「先生方からおすすめする本」の2冊ですが、この度カラー版が出ましたので改めて紹介します。2冊で合計29点の絵画について見どころを解説(各絵画読み切り)しながら西洋美術史の入門をも兼ねる本。参考図版も大幅に増え、最新の研究成果も注で加えられています。今後の美術館巡りが楽しくなるだけでなく、現代文の文化や精神史等の評論文の理解にも大いに役立ちます。



☆お知らせ:夏休み長期貸出 実施中!

◎返却期限:8月25日(金) 貸出冊数:6冊まで

夏休み開館

7月26日(水)~8月9日(水)の平日

9:00~16:00

8月21日(月) 9:00~13:20

22日(火)・23日(水) 9:00~16:00

24日(木) 12:00~16:00

となっております。

どうぞご利用ください!!



☆入試で小論文など、論述が必要/必要になるかもしれない人へ (全学年対象)

◎どの分野でも憲法と倫理は押さえておくべきです 例:環境・建築・医療・国際関係等も

法律学科を目指す人だけではなく、人権や私有財産に関わるすべての分野・社会問題において、現実の課題の解決策を考える際に先ず確認しておかなければならないのは憲法です。そして、対立する利害の調整の際には、倫理・法律に則って判断しなければなりません。

これまで何度か紹介してきましたが、下記の2冊をまず読むようにしてください。

(推薦図書「進路・小論文・現代文のための本」の棚にあります。各々複数所蔵しています。)



①『いちばんやさしい憲法入門』第6版 初宿正典 高橋正俊
米沢広一 棟居快行 著 有斐閣
憲法における争点の内、私達にとって身近で大事な22のテーマについて、面白くやさしい話題から説き起こし、その論点・主要判例・課題・今後の展望などを解説する。基本的人権・民主政治を偏りなくカバーしている。自分の意見を憲法の理念や基本事項を基に、あるいはそれらに反しないように展開していくために参考になる本。

②『現代倫理学入門』加藤尚武著 講談社学術文庫

臓器移植や環境問題など現代社会の様々な課題に絡むジレンマ・難問15種について、例や理論を挙げて論証・解説する。倫理的・現実的に最善な解決を導くための考え方が身に付くようになっている。

◎特にカトリック系の大学(上智大学・南山大学など)を目指す人が読んでおくべき本



③④共に教皇フランシスコ著 カトリック中央協議会
③『回勅 ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に』環境問題とそれに伴う社会問題を分析。課題を示し解決のための提言を行う。
④『回勅 兄弟の皆さん』地球上の社会問題を幅広く提示し、分析・本質と課題を提示し、今後の取り組み方を示す。

☆入試の準備で必要な参考書籍のリクエストは「早め」が吉!

◎中学生からでもどしどし相談に来てください!!



志望分野・学部はそんなに早く決めることはできないことも多くあるでしょう。知識や視野が広がるにつれて、新しく興味のある分野に出会うこともよくあるからです。いずれ志望分野が変化してしまうにせよ、今現在興味のある分野についての書籍・資料をどんどん見て学んでみましょう。

本校の生徒の皆さんは、その準備に取り掛かるのが、近年、非常に遅い傾向にあります。ここ数年はそれが極端になり、入試の1週間前後前というケースが頻発し、中には数日前などという人も……これでは、いくら何でも入試問題に太刀打ちできるわけがありません。しかも、その一方で、何か月も前、あるいは数年前からその学科を目指して準備してきた受験生たちもいるのです。

中学生の内から興味のある分野を学んで伸ばしていくのは、早すぎることはありません。実際に、京都大学ではそのような学生が普通にたくさんいます。自分が面白いと思う分野の学びをどんどんやってきた人たちは、皆さんも、やってみようということがある人、あるいは何かやってみよう、という人は、是非図書館のカウンターに相談しに来てください。

◎高い専門性を身に付け、それを使って仕事をすることを目指そう

どのような分野を専攻するにせよ、専門知識を身に付け、それを活かして仕事をするを第一に考えましょう。仕事に役立てるとなると、より深く高い専門知識を身に付けている方が良いのは当然のことです。

自分の生き方と仕事を考え、それに従って志望の学部・学科を選びましょう。大学に入ってから、新しい分野に出会い、専攻を変更する場合がありますので、「一度決めたら変えられない」と悩まないで、とにかく現時点での志望学部・大学を早めに決めて準備に取り掛かってください。(転専攻だけではなく転学部を想定する人は、単科大学ではなく総合大学を選ぶと良いでしょう。)ここ数年、願書を出す時になって「受験科目の少ない学部・大学」「不得意科目が入試にない学部・大学」「学科試験は無理だから小論文入試のところ」という理由で受験先を選び、入試数日前に先生方に促されてやっと図書館に本を探しに来る人が多くなっています。合格するケースは少ないのですが、万一合格しても、自分の将来の仕事につながるはずの専攻をそのような理由で決めてしまったら、いわゆる「ミスマッチ」という事態に陥る可能性が大いにあります。大学に入ってから「こんなはずじゃなかった」「大学が自分に合わない」「専攻に興味を持てない」など。一般には、それによって、学業に身が入らず留年・中退するケースも少なくありません。

どの学年の皆さんも、大学でどんな面白い勉強をしようかと早めに考え始めてください。そして、楽しんで準備していただきたいと思います。図書館では、そんな皆さんの支援をしていますから、是非相談しに来てください!!

☆新着本 読み物(小説・科学の本) 他にも入っています 見てみてください



①『水の城』列アイ・ヴェーソ著 国書刊行会:ノルウェーを舞台に、突然に友を失った少女の魂が喪失を統合していく過程を、クラスメートとの心の交渉と共に繊細に描く。
②『タイミングの科学 脳は動作をどうコントロールするか』乾信之著 京都大学学術出版会:練習・「からだで覚える」記憶・敏捷・タイミング・チームプレーについて。

③『小説みたいに楽しく読める 免疫学講義』小安重夫著 羊土社:豊富な図解と平易な言葉で解説

